



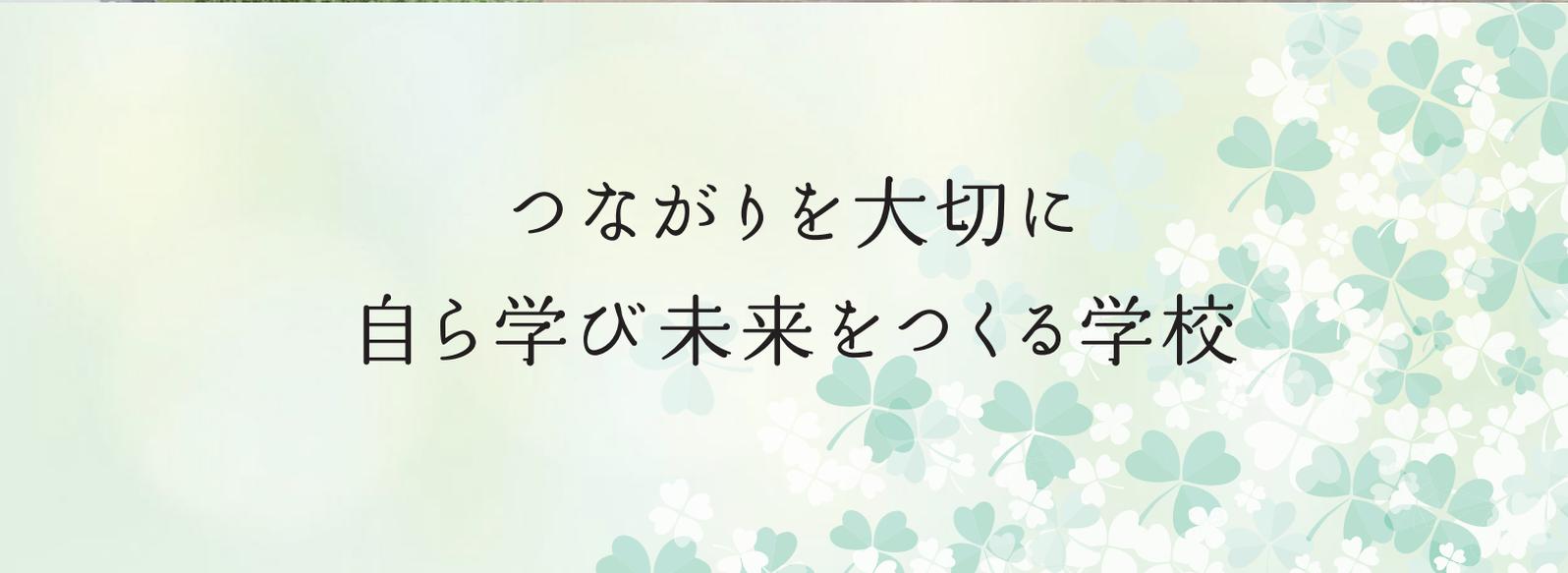
義務教育学校

豊中市立庄内よつば学園

令和8年（2026年）4月開校



つながりを大切に
自ら学び未来をつくる学校



「庄内よつば学園」の学校教育目標

めざす学校像

つながりを大切に、自ら学び 未来をつくる学校

めざす子ども像

主体
つながり
安心感

自ら考え、行動し、
仲間とともに豊かな社会をつくる子ども



めざす子ども像実現に向けて、4-3-2のステージ制をひき、子どもたちに「3つの力」を段階的に育てていきます。

	「つながりを大切にする」 学校	「自ら学ぶ」 学校	「未来をつくる」 学校
第3ステージ (8・9年)	<ul style="list-style-type: none"> 子ども主体の自治活動をすすめ、相手の立場に立って考える共感力を高める 自分の意見を他者に伝え、他者の意見を取り入れてまとめる対話力を高める 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちどうしで考え、授業や活動をすすめる 目標に対するアプローチを明確に、すぐに正解を求めず探究的に思考をすすめる 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの将来をみつめ、よりよい未来をつくろうとできる(自分で未来を切り拓く) 多様性を受け入れ、自分と向き合う
第2ステージ (5~7年)	<ul style="list-style-type: none"> ちがいを認める教育活動(つながる多様な仲間)をすすめる 人との出会いにあふれる学校(異学年交流、地域交流) 	<ul style="list-style-type: none"> 小さな成功体験の階段をのぼる(小さな失敗を重ねながら自信をつける) 主体的に学習できる力(計画、目標、ふり返り) 	<ul style="list-style-type: none"> 行事は、自分たちで考え創りあげる どんな大人になりたいかイメージを持つ(本物との出会い、身近に働く人から話を聞く)
第1ステージ (1~4年)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の良さを見つけ、認める=自分が自分であって大丈夫(自己肯定感) 安心して過ごせる人間関係づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 学びの根っこ(基本的な生活習慣、話す・聞く力)を育てる 異学年交流の学び合いを通して、分かる喜びをもつ 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きなこと、得意なことを見つける みんなで一つのものを作り上げる 

「めざす子ども像」の実現に向けた仕組み

1 1年から9年の子どもたちの育ちと学びをつなぐ

1年から9年までの子どもたちが、「主体・つながり・安心感」をキーワードに学校生活を送ることでともに成長していく姿を見守り、子どもたち一人ひとりの課題を見すえ、9年間の育ちや学びをていねいにつないでいく指導を行います。

2 3つの力(つながる力・まなぶ力・つくる力)を4-3-2の3ステージで段階的に育む

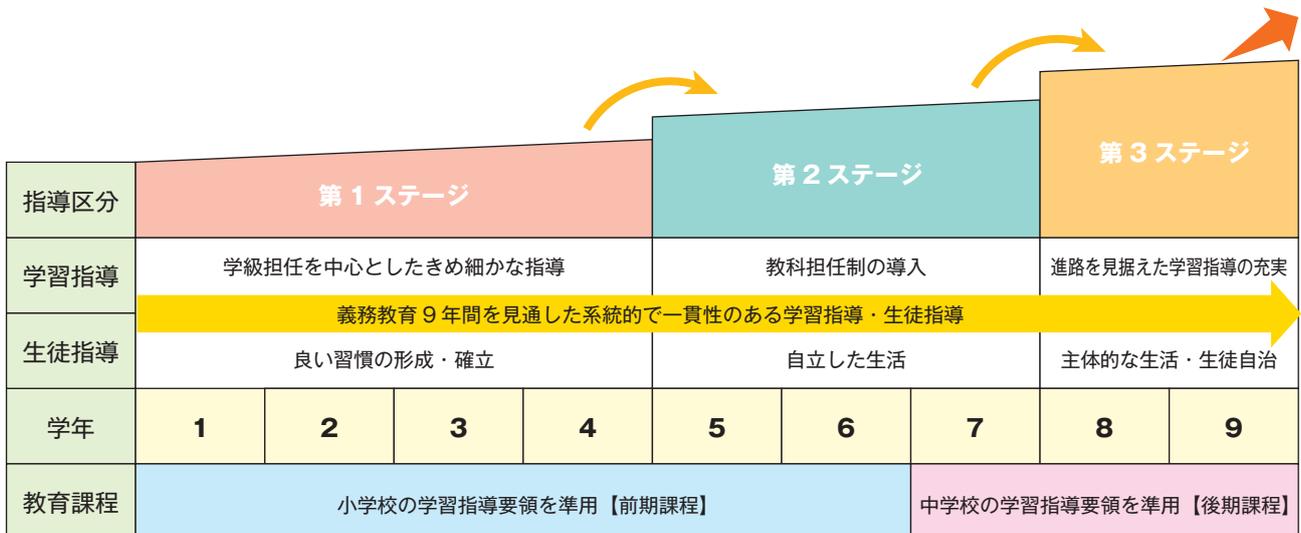
子どもたちにつけたい三つの力を育てていくために、子どもの発達段階にあわせて、学年段階を4-3-2の3段階に区切り、各ステージごとに具体的な目標などを設定し、ステージにおける子どもの実態を反映した形での取り組みを行うなどきめ細やかな指導を行います。

3 対話力・共感力・表現力を高める「よつば独自カリキュラム」に取り組む

多様な考え方、価値観をもつ人との出会いや活動を通して、子どもたち一人ひとりの対話力・共感力(エンパシー)を高めるとともに、自己肯定感・自己有用感を育てていく。そのために地域・関係機関と連携した独自の独自カリキュラムを設定し、子どもたち自身が未来を切り拓いていける力を育みます。

4 「よつばコミュニティスクール」で地域とともにある学校づくりをすすめる

子どもたちの育ちや学びをサポートしていくために、「子どもたちの応援団」として地域・保護者の方々に学校の取り組みに参画していただくコミュニティスクールを組織し、地域とともにある学校づくりをすすめます。



第1ステージ
(1～4年)

第2ステージ
(5～7年)

第3ステージ
(8・9年)

「主体・つながり・安心感」のある学校

1 標準服について

< 基本的な考え方 >

- 制服ではなく、標準服として服装のあり方を考えます。
- 多様性に配慮した形で、子どもの選択の幅を広げます。
- 庄内よつば学園としての基準となる標準服(上下)を創ります。
- ステージ制を意識した着用指導をすすめます。

< 具体的な着用イメージ >

- 標準服は、ブレザー、スラックス(スカートも選択可)とします。
(標準服 = よつばオリジナル製品及び量販店等で購入する既製品)
中に着る服装は、カッター、ブラウス、ポロシャツを基本とし、色は指定しません。

第1ステージ(1~4年) = 自由服とします
第2ステージ(5~7年) = 自由服または標準服とします
第3ステージ(8・9年) = 標準服を基本とします



よつばボタン



よつばフラワーホールマーク



よつばオリジナル標準服

- 第2ステージから第3ステージにむけて、7年生は標準服の移行期間と考えます。
- 標準服等の運用については、児童会生徒会で検討していきます。(学校での学習や活動をすすめる服装を自分たちで考える。)

2 児童会・生徒会活動について

- ① 異年齢の児童・生徒どうしの活動を通して望ましい人間関係を形成する。
- ② 集団や社会の一員としての自覚を深め、よりよい学校生活のため、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

を目的に、下記の組織で児童会と生徒会をつなぎ「自治の力」を高める取り組みをすすめます。

(仮称) よつば会執行部

会長	副会長	役員	9年委員長会	8年委員長会	7年委員長会	6年委員長会	5年委員長会
----	-----	----	--------	--------	--------	--------	--------

(仮称) よつば議会

執行部 + 各専門委員会委員長

専門委員会

7~9年	委員長会		保健委員会	体育委員会	整美委員会	文化図書委員会
	委員長	副委員長				

各チームの代表2名は、専門委員会に参加する

専門チーム

5・6年	代表チーム	企画チーム	健康チーム	給食チーム	運動チーム	安全チーム	清掃チーム	栽培チーム	文化チーム	図書チーム
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

*5年生、6年生は、必ず全員がいずれかのチーム(委員会)に入ることとします。

*部活動については、6年生から参加できる環境をつくり、自主的・主体的な活動をサポートします。

庄内よつば学園の学びの仕組み

1 4-3-2の3ステージ制で、「三つの力」を段階的に育む

子どもたちにつけたい三つの力(つながる力・まなぶ力・つくる力)を育てていくために、子どもの発達段階にあわせて、4-3-2の3段階に区切り、各ステージごとに目標を設定し取り組みをすすめていきます。

第1ステージ 1~4年

学級担任を中心にきめ細かな指導により、基礎基本の確立を図るとともに、自己肯定感を高める取り組みをすすめます。

第2ステージ 5~7年

一部教科担任制を実施することで、より専門的な指導のもと系統的に学習をすすめます。また定期テストは導入せず、単元テストと実力テストを併用するなど、5~7年を緩やかにつなぐことで、学びの定着を図ります。

第3ステージ 8・9年

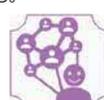
第1・2ステージで培ってきた「学びの基礎」を土台に、定期テストを導入し、自ら計画的に学習をすすめる習慣をつけ、一人ひとりが自らの力や可能性を信じて、進路を切り拓く力を高めます。

2 授業の中で「三つの力」を育む

さまざまな学習や活動を通して、段階的に「三つの力」を育てていきますが、1日の学校生活の基盤をつくるのは、やはり一つひとつの授業です。

したがって、授業の中で「三つの力」を育てていくための指標として、庄内よつば学園では下図の表を作成し、子どもたちとも共有し学びを深める取り組みをすすめていきます。

授業で育む三つの力

つながる力 自らを深く見つけ、多様な仲間とつながる力		まなぶ力 仲間とともに、粘り強く意志をもって学び続ける力		つくる力 自らの将来を見つめ、よりよい社会をつくらうとする力	
自分を知る・大切にす・伝える		主体的に学びのスタートをきる		自分の可能性を広げる	
自分を客観的に見つめる。 	自分の考えを言葉にして相手に伝える。 	自分で選び決める。 	自ら課題に取り組む。 	知識・技能を習得する。 	思考し、問い続ける。 
他者を知る・認める		課題解決に向けて計画・実行する		社会に活かす	
他者の考えを理解し自分の考えと比較する。 	様々な人の姿や先人の考えを参考にす。 	見通しを持つ。 	情報を整理し、適切に活用する。 	社会の仕組みや現状を知る。 	各教科の見方、考え方を社会の課題解決に活かす。 
協働する		試行錯誤する		「自分たちが」つくる	
学んだことを教え合う。 	共に考えを深めあう。 	粘り強く取り組む。 	結果を分析し、次につなげる。 	社会の一員という立場で取り組む。 	新たなもの、よりよいものをつくりだす。 

庄内よつば学園の人権教育

庄内よつば学園の人権教育目標

出会いを力に 自分を見つめ 仲間とともにつくる未来

義務教育9年間で、人権教育を通して子どもたちにつけたい力は、

- ①自分の良さに気づくとともに、互いを認め合い行動できる豊かな人権感覚をもった子ども
 - ②様々な人との出会いを大切に多様な生き方を学び、自らの生き方を見つめる子ども
- そのために、知る→気づく→つながる→行動するのサイクルを大事にして、表題の人権教育目標達成に向けて取り組みをすすめます。

知る	人との出会いを通して、自分や仲間の良さを知る
気づく	かけがえのない仲間や自分に気づく
つながる	学びを通して仲間とつながる
行動する	よりよい未来に向けて仲間とともに行動する

出会いを力に 自分を見つめ
仲間とともにつくる未来



【六つの柱】

国際理解教育	集団づくり
平和学習	部落問題学習
ともに学びともに育つ教育	ジェンダー平等教育

庄内よつば学園は 豊中初の給食調理場を併設した義務教育学校

庄内よつば学園は、豊中市初の給食調理場を併設した義務教育学校になります。学校給食は、自校調理で1年生～9年生まで共通献立を提供します。



後期課程の給食も、全て食缶方式での提供となり、全ての副食を温かく提供し、量の調節を行うことができます。

また、献立は、小学校給食の献立を、後期課程の栄養摂取量に合わせた量で提供します。

これにより、1年生～9年生まで一貫した食育指導を行うことが可能になります。



対話力・共感力・表現力を高めるよつば独自カリキュラム

【学校教育目標】

自ら考え、行動し、仲間とともに豊かな社会をつくる子どもを育てる

庄内よつば学園・未来探求プログラムの目標

未来探求プログラムでは、子どもたちに未来を切り拓く力を育むために、つながる力・まなぶ力・つくる力を高めることを目標とした【地域・キャリア】【対話・表現】【探究・STEAM】の3つのテーマを設定し、9年間の系統的な学びを推進する。

【地域・キャリア】

人や地域との出会いを大切にし、身近にある課題を仲間や地域とともに解決する力を育む。社会とのつながりや未来を展望することで、自らの在り方や生き方を見つけ、社会に主体的に参画しようとする態度や技能を育成する。

【対話・表現】

音楽や美術、演劇といった活動を通して、自分を表現することで、自尊感情や自己肯定感を高める。また、表現していくまでの過程において、自他の良さを認め合いながら、自分の意見をつくり、場面や対象に応じて適切に対応していく力を育む。

【探究・STEAM】

探究活動を通して、自分と世界（ひと・もの・こと）との関わりにおける課題を総合的に追究する方法を身に付け、多様な出会いから、課題（問い）を主体的に見出し、仲間と協力して解決する力を育む。また、教科横断的なSTEAM教育を通して、各教科の学習を実社会での問題発見・創造的な問題解決へつなげていく。

【地域・キャリア】

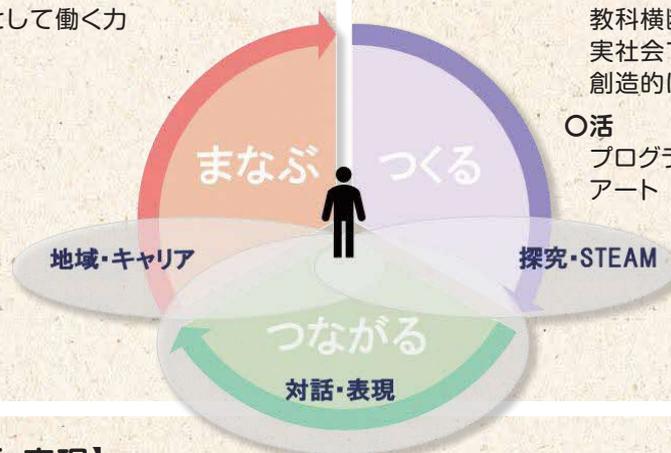
- キーワード
キャリア教育・社会人として働く力
生活する力
- 活動
校区探検・職場体験
起業体験・保育実習
福祉など
- 協力
地域
こども園・幼稚園
福祉関係機関など

【探究・STEAM】

- キーワード
教科横断的な学習・STEAM教育
実社会で主体的に問題発見し、
創造的に問題解決する力
- 活動
プログラミング学習
アート・問題発見・解決学習
- 協力
大阪公立大学
工業高等専門学校
Toyonaka Venture
学生・企業・地域

【対話・表現】

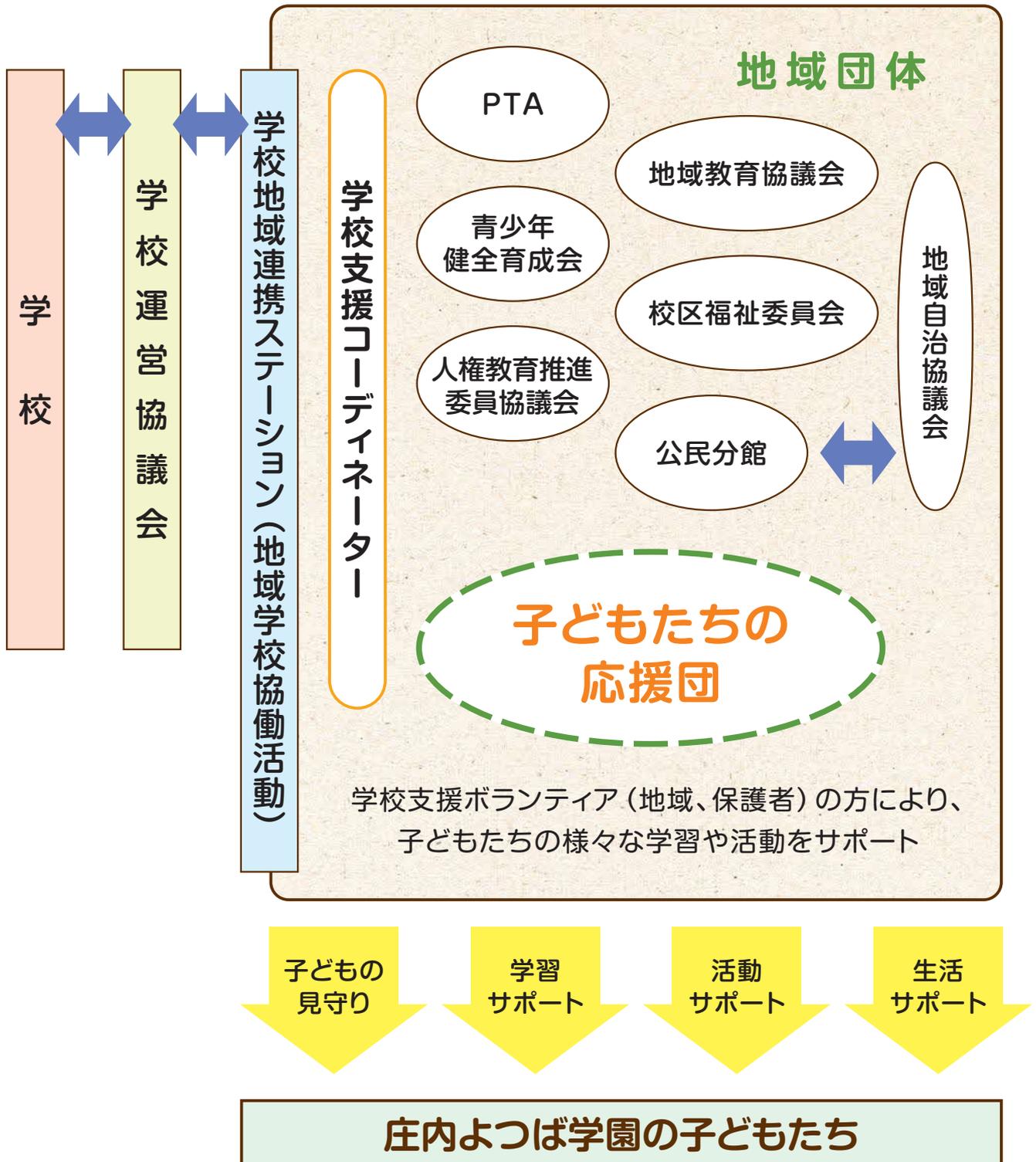
- キーワード
コミュニケーション・表現・対話
- 活動
SST（ソーシャル・スキル・トレーニング）
コミュニケーションワーク（演劇・お笑い・音楽）
- 協力
大阪音楽大学・笑ってみ亭じゅげむ・吉本興業・劇団衛星



よつばコミュニティスクールで地域とともにある学校

庄内よつば学園の子どもたちの育ちや学びをサポートしていくために、「子どもたちの応援団」として地域・保護者の方々に学校の取り組みに参画していただくコミュニティスクールを組織し、地域とともにある学校づくりをすすめます。

コミュニティスクールは、学校と保護者や地域の皆さまがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、地域とともにある学校づくりをすすめる法律に基づいた仕組みです。



学園のシンボル (校名・校章・校歌)

1 校名は「庄内よつば学園」

校区の子どもたちの声とともに、市民・保護者等からも広く公募し、集まった「声(校名案)」をもとに協議をすすめた結果、「庄内よつば学園」に決定されました。

この校名には、3小1中の4校が一つになるということ。四つ葉のクローバーは「幸せの象徴」のイメージがあることなどから、「やさしい校風」がつくられるのではないかと、4校から集まった人たちがふれあうことで、幸せになってほしいという理由で選定されたものです。

2 校章について

校章デザインについては、各小中学校ごとに児童会・生徒会よりデザイン案を広く募集しました。

それぞれ集まったものから「児童会・生徒会交流会」で話し合いをもち、5点を選びアンケートを実施し決定していきました。

「『ここが一番』』と思える学校にしたい! それぞれの個性が集まり、思いやりのある場所にしたい」という願いが込められています。



3 校歌について

庄内よつば学園 校歌 作詞 相花奈音 作曲 西村由紀江

若葉萌ゆ きらめく眼差しで
どんな未来 描いてみようか
明日への標 今日足あと
刻んでゆく みんなの軌跡
空の青 四方の緑
幸せ奏でる 庄内よつば学園

忘れじの ときめくその笑顔
めぐる日々 紡ぐこの場所で
笑って泣いて 繋ぐ手と手
歩んでゆく 仲間とともに
空の青 四方の緑
幸せ 心に咲かそう
空の青 四方の緑
幸せ溢れる 庄内よつば学園

庄内よつば学園の校歌は、豊中出身のピアノ演奏家・作曲家の西村由紀江さんが作曲、大阪音楽大学卒業の作詞家・作曲家の相花奈音さんに作詞をしていただきました。

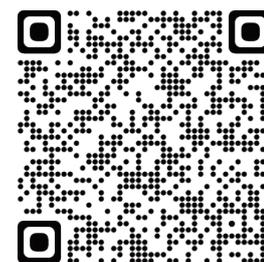
歌詞には、「音楽のようにこの先ずっと一人ひとりの心(音)がつながる、幸せあふれる学校になってほしい」という願いが込められています。



レコーディングは、第七中学校の1年生及び生徒会執行部から10名の合唱隊を組織して行いました。

校歌レコーディングのようす

下記の2次元コードから校歌を試聴することができます

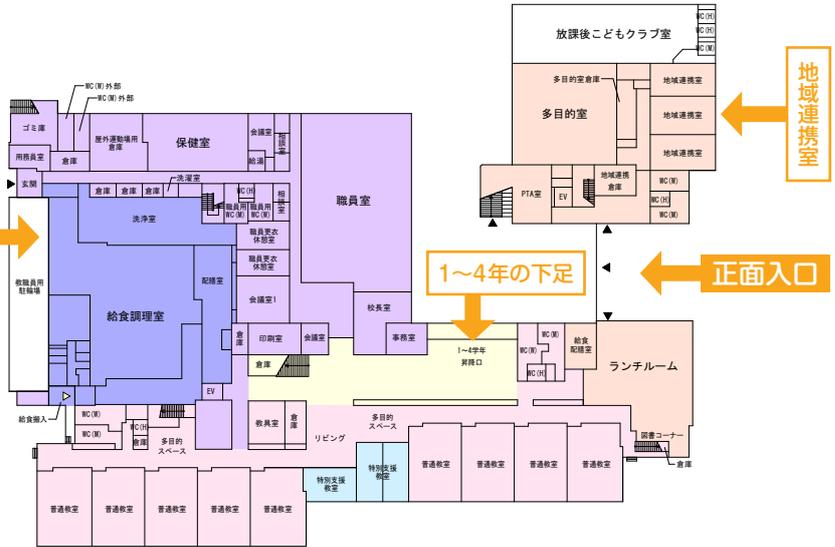


庄内よつば学園の校舎配置図

1階

給食は、
1年から9年まで
自校調理となります

1・2年の
教室を配置



2階

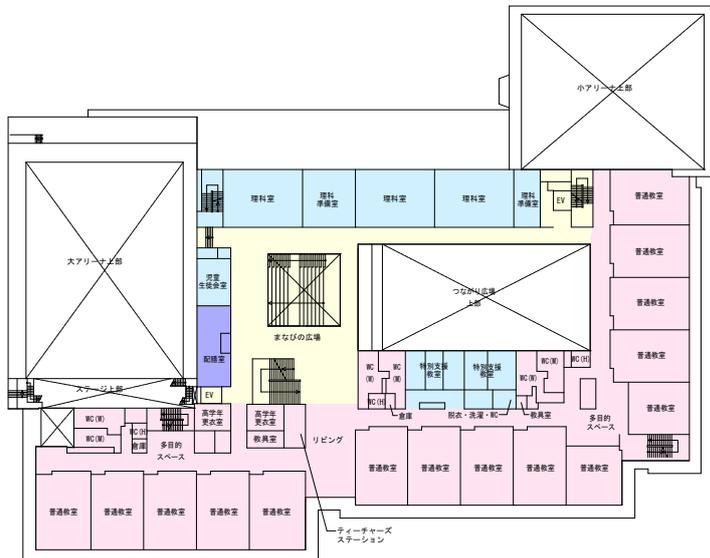
大アリーナ、
小アリーナを配置

3・4年の
教室を配置



3階

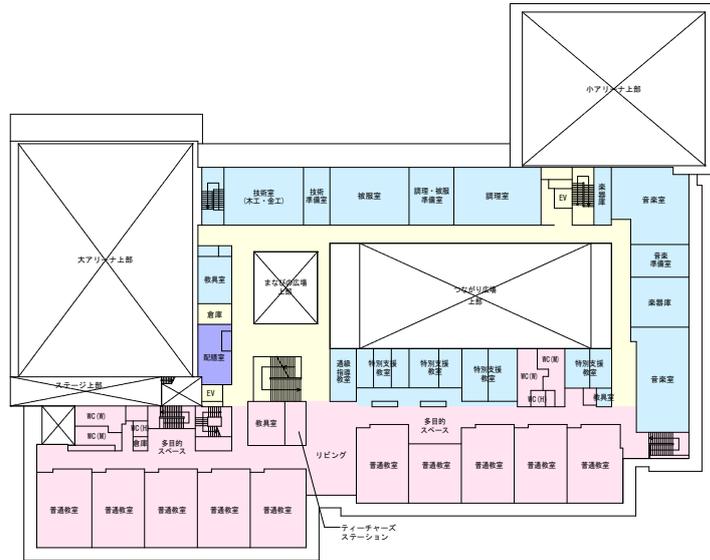
5・6・7年の
教室を配置



凡例 普通教室 特別教室 管理諸室 体育施設 地域連携施設 給食施設 共用部

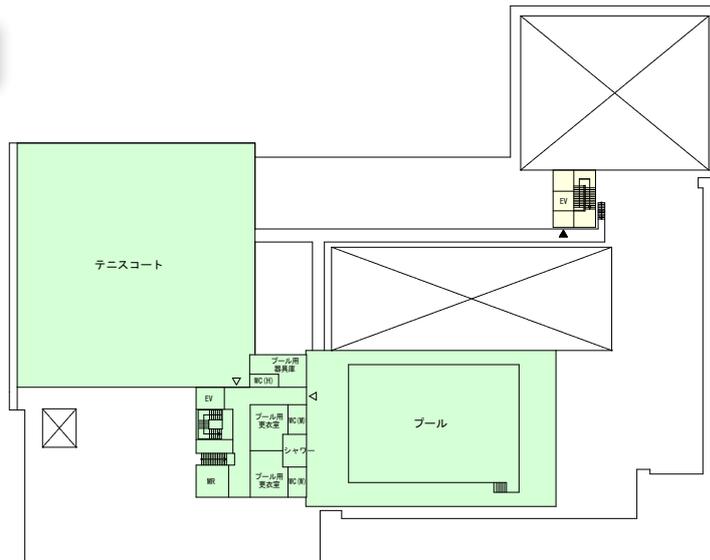
4階

8・9年の
教室を配置



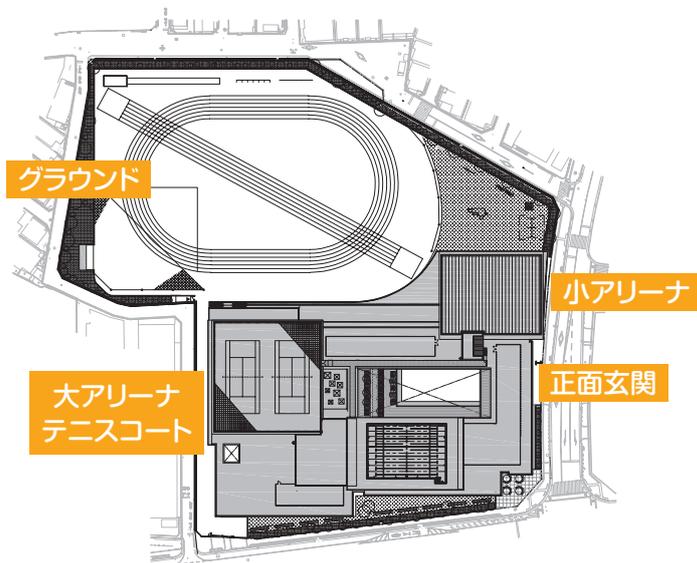
5階 (屋上)

テニスコート、
プールを配置



全体の配置図

こちらから
校舎のイメージ動画が
見られます



1年間の学校生活（予定）

4月	開校式・始業式 入学式（1年） 全国学力・学習状況調査（6・9年）	地区・家庭訪問 大阪府すくすくテスト（5・6年）	参観・懇談
5月	春の遠足 沖縄修学旅行（9年）	中間テスト（8・9年）	
6月	広島宿泊行事（7年） 期末テスト（8・9年）	宿泊行事（4年） 実力テスト（9年）	
7月	実力テスト（5～7年）	個人懇談 1学期終業式	
8月	2学期始業式		
9月	大阪府チャレンジテスト（9年）	実力テスト（9年）	
10月	中間テスト（8・9年）	体育大会（運動会）	
11月	オープンスクール 期末テスト（8・9年）	秋の遠足 実力テスト（5～7・9年）	進路懇談（9年）
12月	学習発表会（1～7年）	個人懇談 2学期終業式	
1月	3学期始業式 大阪府チャレンジテスト（7・8年）	実力テスト（9年） 学年末テスト（9年）	
2月	私立高校入試 実力テスト（5～7年）	公立高校特別入試 合唱コンクール（8・9年）	学年末テスト（8年）
3月	公立高校一般入試 ステージ式（4・7年）	参観（1～8年） 修了式	卒業式（9年）

- ◆1年生は入学式、9年生は卒業式を実施します。また各ステージの終了に合わせて4年、7年でステージ式を実施します。
- ◆宿泊学習は、各ステージのまとめとして、4年、7年、9年で実施します。開校年度については、8年でも実施（6月予定）します。
- ◆定期テストは、第3ステージ（8・9年）で実施します。第2ステージ（5～7年）は、定期テストは実施せず、単元テストと実力テストを実施します。開校年度については、1学期中間テスト（8・9年）は実施しません。

豊中市立庄内よつば学園

学 | 校 | 案 | 内 |

【発行】令和7年（2025年）7月

豊中市教育委員会事務局 学校教育課

電話：06-6858-2705

E-mail：kyokeikaku@city.toyonaka.osaka.jp

2次元コードから
ご覧いただけます

